

平成20年10月15日
消 防 局

新日本製鐵八幡製鐵所コークス工場火災の原因と再発防対策について

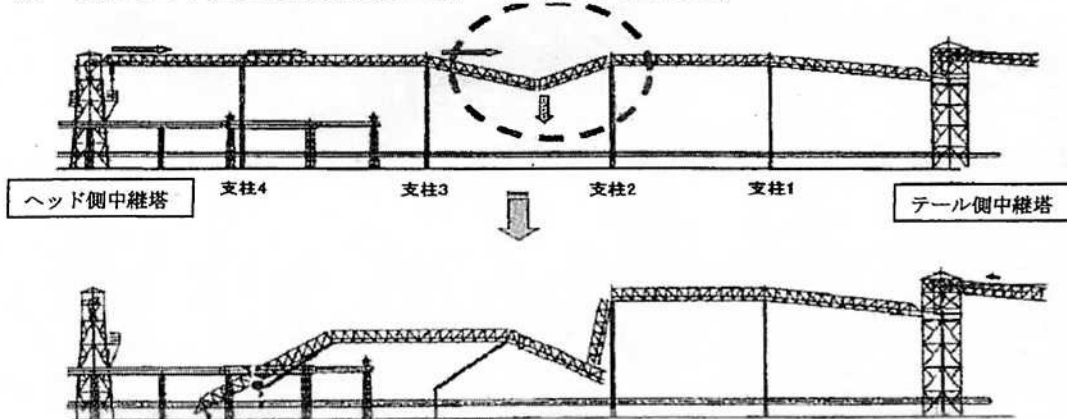
1 火災原因について

7月29日6時36分頃発生した新日本製鐵第5コークス炉周辺の火災については、第5コークス炉ベルトコンベア設備の落下により、コークスガス配管及び周囲の電気配線等が損傷を受け、3カ所から順次出火したもの。

- (1) 第1出火箇所 ベルトコンベア設備下にあったコークスガス配管の損傷部分から噴出したガスに電気スパークの火が着火
- (2) 第2出火箇所 破損した炉側ガス配管部分から高温のコークスガスが大気中に拡散され燃焼範囲となったため自然発火
- (3) 第3出火箇所 破損したガス配管(集合管)接合部分から噴出したコークスガスに第2出火箇所からガス配管を伝ってきた火が引火

2 ベルトコンベア落下の要因と推移

- (1) 支柱2～支柱3間のベルトコンベア設備の第6フレームにおいて、部材の腐食による劣化や支柱の傾きが原因で構造材が変形・破損することにより、「逆への字」でベルトコンベアが落下
- (2) (1)により、支柱3からヘッド側中継塔間のベルトコンベア設備がテール側に引きずられ、
- (3) 支柱4からヘッド側中継塔間のベルトコンベア設備が中継塔から離脱し落下
- (4) (3)により、支柱3及び支柱4をテール側に押し倒した。



3 再発防止対策の指導内容について

- ① 火災発生後から第4コークス炉再稼動までの指導項目
 - ・ ベルトコンベア設備からの出火防止措置
 - ・ 支柱等の構造物の強度確保
 - ・ ガス配管の安全性確保
 - ・ ガス冷却装置の安全性確保
- ② 火災原因判明に基づく、新たな指導項目
 - ・ コークス炉ベルトコンベア設備の更なる出火防止措置
 - ・ コークス炉以外のベルトコンベア設備の点検実施
- ③ 今後の更なる取り組み
 - ・ 自主防災体制の強化

以 上